

令和3年入込観光客総評

令和4年6月 箱根町企画観光部観光課

■ 総括

令和2年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一年を通して緊急事態宣言等で行動が制限される厳しい状況であったが、ワクチン接種が進んだことによる高齢者等の重症化率の低下や感染不安への意識が弱まってきたことから、旅行需要が徐々に回復した。その結果、令和3年の入込観光客数は13,500千人で、対前年比で930千人、率にして7.4%の増加となり、4年ぶりに増加に転じた。

■ 入込観光客数

13,500千人（前年比107.4% 930千人の増）

〔内訳〕

- ・ 宿泊客：2,541千人（前年比91.1% 248千人の減）
- ・ 日帰り客：10,959千人（前年比112.0% 1,178千人の増）

■ 大きく影響を受けた事象

- ・ 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出＜延べ約9か月間＞

1 宿泊客について

（1）施設形態別

旅館・ホテルは、2,301千人（前年比91.2% 222千人の減）、寮・保養所は201千人（前年比87.9% 28千人の減）、その他の施設（民宿・国民宿舎・ユースホステル等、ペンション、キャンプ場・コテージ）は、39千人（前年比104.6% 2千人の増）であった。キャンプ場・コテージは前年比111.8%で、コロナ禍でアウトドア需要が高まっていることが伺えた。

〔内訳〕

外国人観光客は、令和2年に引き続き日本への入国制限等の措置がなされたことで依然として低い数字で推移した。一方、修学旅行客は、緊急事態宣言が解除された10月以降に回復傾向となった。

- ・ 一般客：2,529千人（前年比92.0% 218千人の減）
- ・ 外国人観光客：4千人（前年比10.1% 36千人の減）
- ・ 修学旅行客：8千人（前年比532.7% 6千人の増）

（2）月別

緊急事態宣言が発出されていた1月～3月、8月・9月は前年と比べ減少した。一方、4月・5月は、前年と違い緊急事態宣言が発出されていなかったため大幅に増加した。10月・11月は、緊急事態宣言も解除され回復傾向にあったが、GoToトラベルキャンペーンが行われていた前年には及ばなかった。箱いこクーポン2021やかながわ県民割が開始された12月は前年を上回る宿泊客数となった。

2 日帰り客について

日帰り客については、前年を上回る結果となった。

4月・5月は、多くの観光施設が緊急事態宣言により休業していた前年と比べると、宿泊客以上の増加幅となった。神奈川県に緊急事態宣言が発出されていた8月・9月の期間中は落ち込みがみられたものの、秋の行楽シーズンを迎えた10月からは回復傾向にあり、12月は前年を大きく上回った。

3 月別入込み状況について

【1月】

正月の風物詩である箱根駅伝は、沿道での観戦自粛を要請するなどコロナ対策を取りながら開催されたが、感染拡大によりG o T oトラベルキャンペーンが停止されていることや、首都圏1都3県で8日から緊急事態宣言が再発出されたため、町内から観光客の姿が消え、寂しい状況となった。

【2月】

ひと月を通して緊急事態宣言が出されていたため、国内観光客は依然として少なかった。例年であれば、春節を利用して東アジアから来訪する観光客が多く見られる時期であるが、引き続き入国制限がとられているため、町内は寂しい状況であった。

【3月】

緊急事態宣言が出ていたが、徐々に観光客の姿が見られるようになった。

21日に緊急事態宣言が解除されると、卒業旅行等で来訪したと思われる若者が多く見られたが、例年の春休みシーズンと比べると寂しい状況であった。

【4月】

例年と比べると半分にも満たないが、前年と違い緊急事態宣言が発出されていなかったため、観光客が多く見られた。

【5月】

ゴールデンウィークは東京都等への緊急事態宣言に加え、神奈川県もまん延防止等重点措置が適用されている中ではあったものの、ワクチン接種が進んだからか前年と異なり、町内は多くの観光客で賑わいが見られた。

【6月】

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響もあり、中旬までは寂しい状況であった。神奈川県のもん延防止等重点措置の適用地域が縮小された下旬は、箱根登山鉄道沿線のあじさいのライトアップが2年ぶりに実施されたため、観光客がやや増加傾向となった。

【7月】

初旬は大雨により日本各地で被害が発生し、町内でも土砂崩れが発生し温泉供給施設が被害を受け、温泉供給が一部停止した地区があった。

16日から県内全市町にまん延防止等重点措置が適用され、21日からは無観客で東京オリンピックの競技が開始されたが、22日からの4連休では梅雨明け後の好天にも恵まれ、町内の各地域で賑わいが感じられた。

【8月】

3度目となる緊急事態宣言が発出中ではあったが、お盆期間中は近隣都県から来訪する自家用車などで、連日湯本付近で渋滞が発生しているような状況であった。

しかしながら、G o T oトラベルキャンペーンが開始されていた前年や、例年には及ばないと感じられた。

【9月】

緊急事態宣言が延長されていたが、18日から26日のシルバーウィーク中には、湯本付近や大涌谷周辺で長い渋滞が発生した。しかしながら、ひと月を通して見られた観光客は、G o T o トラベルキャンペーンが行われていた前年や、例年には及ばないと感じられた。

【10月】

緊急事態宣言等が解除され、町内でも観光客が多く見られ、旅行需要の高さが感じられた。

また、下旬には、前年ほとんど見ることのなかった遠足や修学旅行の観光バスが町内で見られるようになり、団体旅行が再開する様子も感じられた。

【11月】

箱根大名行列は、規模を縮小し、開催場所と時間を公表しないサプライズ形式で開催され、運よく居合わせた観光客らを楽しませた。

見頃を迎えた紅葉やすすきを楽しむ観光客の姿が多く見られ、ひと月を通して賑わいが感じられた。また、緊急事態宣言の解除を心待ちにしていたと思われる学生の遠足や修学旅行の観光バスが多く見られ、湯本付近や大涌谷周辺で毎週末渋滞が発生していた。

【12月】

オミクロン株が急速に拡大し、国内の感染者数が増加傾向にあったものの、無症状や重症化リスクの低い若者のグループや、遠足や修学旅行の観光バスが多く見られるなど、前年のG o T o トラベルキャンペーン期間並みの賑わいが感じられた。

※ 最大入込月について

最大の入込があったのは11月で、G o T o トラベルキャンペーンが行われた前年同月の入込観光客数を上回った。次いで、箱いこクーポン2021の利用やかながわ県民割が開始された12月であった。

令和3年 月別入込観光客数一覧

(単位:人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	124,300	119,959	213,425	133,536	143,498	131,653	179,656	265,356	190,283	227,044	291,721	280,913	2,301,344	91.2%
(内数:一般客)	124,153	119,878	213,141	133,370	143,215	130,960	179,383	264,996	190,105	225,619	288,085	277,964	2,290,869	92.3%
(内数:外国人客)	147	81	239	166	283	140	200	360	178	293	294	309	2,690	7.0%
(内数:修学旅行者)	0	0	45	0	0	553	73	0	0	1,132	3,342	2,640	7,785	494.6%
民宿・国民宿舎 ユースホステル等	492	299	503	403	645	354	517	652	357	480	775	875	6,352	89.9%
(内数:外国人客)	24	5	21	47	91	24	27	20	49	59	83	76	526	47.7%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
ペンション	73	46	123	30	78	57	107	101	87	111	268	179	1,260	59.2%
(内数:外国人客)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
キャンプ場・コテージ	668	62	2,593	1,948	2,913	1,449	3,292	7,925	3,283	2,416	2,249	2,393	31,191	111.8%
(内数:外国人客)	7	12	52	95	55	34	81	108	95	32	148	93	812	137.9%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	15	105	66	75	0	0	68	207	64	600	-
寮・保養所	11,917	7,423	17,217	16,933	13,873	11,747	15,070	20,581	11,673	20,366	25,704	28,340	200,844	87.9%
宿泊客計	137,450	127,789	233,861	152,850	161,007	145,260	198,642	294,615	205,683	250,417	320,717	312,700	2,540,991	91.1%
(内数:外国人客)	178	98	312	308	429	198	308	488	322	384	525	478	4,028	10.1%
(内数:修学旅行者)	0	0	45	15	105	619	148	0	0	1,200	3,549	2,704	8,385	532.7%
日帰客	558,909	504,114	931,515	734,253	832,884	635,622	778,089	1,030,146	832,884	1,041,105	1,742,482	1,337,006	10,959,009	112.0%
観光客総数	696,359	631,903	1,165,376	887,103	993,891	780,882	976,731	1,324,761	1,038,567	1,291,522	2,063,199	1,649,706	13,500,000	107.4%

過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数			平成23年	4,280,639
年	宿泊客数(人)	対前年比	対H23年比	対前年増減比(人)
H24	4,631,951	108.2%	108.2%	351,312
H25	4,716,936	101.8%	110.2%	84,985
H26	4,606,751	97.7%	107.6%	△ 110,185
H27	3,665,231	79.6%	85.6%	△ 941,520
H28	4,338,824	118.4%	101.4%	673,593
H29	4,693,513	108.2%	109.6%	354,689
H30	4,525,879	96.4%	105.7%	△ 167,634
R1	4,296,727	94.9%	100.4%	△ 229,152
R2	2,788,706	64.9%	65.1%	△ 1,508,021
R3	2,540,991	91.1%	59.4%	△ 247,715

(2) 日帰客数			平成23年	13,390,361
年	日帰客数(人)	対前年比	対H23年比	対前年増減比(人)
H24	14,806,049	110.6%	110.6%	1,415,688
H25	16,140,064	109.0%	120.5%	1,334,015
H26	16,583,249	102.7%	123.8%	443,185
H27	13,710,769	82.7%	102.4%	△ 2,872,480
H28	15,226,176	111.1%	113.7%	1,515,407
H29	16,826,487	110.5%	125.7%	1,600,311
H30	16,734,121	99.5%	125.0%	△ 92,366
R1	14,663,273	87.6%	109.5%	△ 2,070,848
R2	9,781,294	66.7%	73.0%	△ 4,881,979
R3	10,959,009	112.0%	81.8%	1,177,715

(3) 観光客総数			平成23年	17,671,000
年	観光客総数(人)	対前年比	対H23年比	対前年増減比(人)
H24	19,438,000	110.0%	110.0%	1,767,000
H25	20,857,000	107.3%	118.0%	1,419,000
H26	21,190,000	101.6%	119.9%	333,000
H27	17,376,000	82.0%	98.3%	△ 3,814,000
H28	19,565,000	112.6%	110.7%	2,189,000
H29	21,520,000	110.0%	121.8%	1,955,000
H30	21,260,000	98.8%	120.3%	△ 260,000
R1	18,960,000	89.2%	107.3%	△ 2,300,000
R2	12,570,000	66.3%	71.1%	△ 6,390,000
R3	13,500,000	107.4%	76.4%	930,000

※平成23年は東日本大震災の影響を大きく受けているもの